

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

熊取町長

市町村名 (市町村コード)	熊取町 (27361)
地域名 (地域内農業集落名)	高田地区 (高田集落)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月17日 (第2回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

当地区は永楽ダムに隣接しており、集落の中を見出川が流れるなど、水がきれいで豊かな地区であり米作りに適した環境であるが、土が粘土質で畑には向いていない。山間部であるため段差があり、形状が不揃いな小規模な田が多く、道路も狭いため大型機械を導入できない。水が豊かである反面、水利組合役員の成り手不足や水路やため池の維持管理のための人材が不足している。

また、農地の利用意向としては、10年後に貸し出したい農地は44%となっているが、現状で貸し出しをしている農地は16%に留まっている。後継者がいないまたは就農未定が農業者の83%を占めており、後継者等の担い手が不足していることから、地区外より新規就農者や企業の参入を促進する必要がある。

参入を促進するに当たっては、ほ場条件の改善も必要となるため、農地の集約化や補助金事業を活用した農道整備や水路整備も同時に行う必要がある。

(2) 地域における農業の将来の在り方

豊かな水を活かした水稻栽培を中心として、裏作や休耕地に緑肥のためのレンゲ等の花を植えるなどして観光農地化を促進する。また、農業所得の向上のため、水なすやさといも等の高収益作物の栽培を既存の担い手を中心として促進するとともに、農地の集約や補助金を活用した基盤整備事業を実施することにより生産効率の向上を目指す。

共同のトイレなどの既存の地域の施設を活かし、外部の担い手を呼び込む。加えて、地域の農業者が共同利用できる機械や倉庫、作業場などの営農に必要な設備を府補助金等を活用しさらに整備することで、就農希望者の研修や今後の担い手の育成及び就農支援を地域ぐるみで行っていく。遊休農地や水路等の管理運営の受け皿として、多面的機能支払交付金を活用した農業者や企業等と協働で農地の保全活動に取り組む組織の立ち上げを検討する。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	11.2 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	11.2 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

市街化調整区域内で概ね5ha以上の一団となっている農地(農空間保全地域内のものに限る。)とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
担い手を中心に集積・集約化を進めるとともに、空き農地のリスト化や新規就農セミナーや農業参入セミナー等でPRを行い、外部から地域に溶け込める担い手を誘致する。
(2)農地中間管理機構の活用方針
遊休農地や貸付け意向の農地を農地中間管理機構(大阪府みどり公社)に貸付け、担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。
(3)基盤整備事業への取組方針
農道の整備や水路の補修など整備が必要な箇所を精査し、補助金を活用した整備事業を検討していく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
地域外から、地域の実態に即した多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していく。また、農業関係者と地域住民で連携し、相談から定着まで切れ目なく支援していく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
JA大阪泉州を通じて熊取町農業改良クラブの農作業委託等を活用するとともに、農作業受託の出来る企業や組織への委託を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☒ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ①熊取町猟友会と協力し、捕獲等を行い獣害を抑制する。
 ⑤くり等の新たな果樹作物の栽培を検討する。
 ⑦耕作放棄地や遊休農地の受け皿として多面的機能支払交付金を活用した営農組織の立ち上げを検討するとともに、組織的に花を植えて地域ぐるみで観光農地化を目指す。